

氏名	金さやか	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	慢性看護、リハビリテーション看護、健康心理学、眼科看護				
学位	修士（看護学）				
学歴	慶應義塾大学看護医療学部看護学科卒業 埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科看護学専修修了				
経歴	2014年東京工科大学助手、2015年埼玉県立大学助教				
所属学会（役職）	日本健康医学会、日本公衆衛生学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本リハビリテーション連携科学学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	A path analysis of factors influencing life satisfaction among patients with narcolepsy in Japan	共著	あり		GHM Open	Sayaka Kon, Chieko Kato, Yoshiomi Otsuka, Takako Negishi
2	Knowledge of Narcolepsy among the General Population in Japan	共同		15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, Soul (Korea)		OSayaka Kon, Takako Negishi, Fumie Tokiwa
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市			
1	主訴への対応場面における看護学生の視覚情報と思考過程の特徴 -視線分析を用いた看護師との比較-	共著	第34回日本看護教育学会学術集会,東京（日本）		○會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金さやか、東口晴菜	2024.8.19-20
2	Knowledge of Narcolepsy among the General Population in Japan	共同	15th International Nursing Conference & 28th East Asian Forum of Nursing Scholars, Soul (Korea)		OSayaka Kon, Takako Negishi, Fumie Tokiwa	2025.2.13-14
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	視線分析を用いた多重課題における臨床推論力を高める教育プログラムの開発		分担者	2020.4～2025.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	生きづらさからの回復を支える-ナルコレプシー患者のための看護支援モデルの開発-		代表者	2021.4～2025.3	
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	通所介護における社会的自立を促進する自立支援型機能訓練マネジメントモデルの構築		分担者	2021.4～2025.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学Ⅴ		4	関節リウマチ、視覚障害者の看護をテーマに講義した。関節リウマチ患者のインタビュー動画を作成し、授業に活用した。また、視覚障害者団体・同行援護事業所の協力のもと、視覚障害者の実情を知らせるためのオリジナルの動画を作成し、授業で使用した。
2	リハビリテーション看護	○	3	障害や慢性病とともに生きる人々を支える看護をテーマとし、視覚障がい者のリハビリテーションや生活支援、生活行為向上のためのマネジメントなど幅広く学習できる内容を展開した。また、講義中に学生のコメントや質問をスクリーンで表示し、リアルタイムで返信を行うといったアクティブラーニングを取り入れた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学Ⅴ		5	臨床現場で実際に使用する医療機器を使用し、医療機器を使用する目的や方法、留意点をわかりやすく説明した。心不全患者の観察を学ぶためシミュレーション演習を活用した。
2	臨床実践看護		14	技術演習では、患者への安全・安楽な技術の取得ができるよう、基本的な手技の指導に加え、確認行動、患者への声掛けなどを指導した。複数患者を受け持つことを想定した行動計画立案の方法については優先順位の考え方について具体的に説明した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ		2024.5～2024.6	シミュレーション教育を活用した周術期看護の指導を担当した。
2	成人看護学実習Ⅱ		2024.5～2024.6	入院患者の受け持ち実習を指導した。
3	総合実習		2024.7	入院患者の受け持ち実習を指導した。各学生の学習課題に基づいた学習ができるようフォローアップした。
4	IPW実習		2024.8	学生が対象のおかれている状況を理解して支援計画を立案するとともに、多職種チームにおける各職種の役割や連携の課題を明らかにするための支援を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2024.12	主指導 2	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	通所介護事業所における心身機能回復から社会参加に至るまでの戦略的自立支援ケア研修	埼玉県	通所介護事業所における自立支援ケアの質向上を目指す	2024.12.11
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会編集委員		2024.4-
2	学生支援	2年生担任		2024.4~2025.3
3	大学広報活動	高校出張講座、高校生への模擬授業（学内）、オープンキャンパス		2024.8~2024.10
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	第34回日本看護教育学会学術集会優秀演題賞（示説）	日本看護教育学会	2024.8	
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			